

IoT Connect Mobile Type S



接続ガイド RX220

1.4版

《改版履歴》

版数	改版年月日	改版内容
1.1版	2023年06月02日	<ul style="list-style-type: none">・ 端末仕様：対応ブラウザの更新・ 初期設定：APN、宛先IPアドレス、宛先ネットマスク、本体側IPアドレスの設定内容の更新
1.2版	2023年11月21日	同梱物の確認：同梱物を修正 お問い合わせ窓口：窓口を修正
1.3版	2024年09月02日	SIMカードについて SIMカードの挿入方法：SIMカバーのネジに適合するドライバー情報を追記
1.4版	2025年02月10日	接続ガイド全体の軽微な修正

本書について

このたびは、弊社モバイルサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、本書「接続ガイド」をよくお読みいただき、正しくお使いください。


ご不明な点がございましたら、本書記載の「[7. お問い合わせ窓口](#)」をご確認いただきお問い合わせください。「[6. 困ったときには](#)」にも、よくお問い合わせいただく内容一覧をまとめておりますのでご利用ください。

弊社モバイルサービスをビジネスツールとして、未永くご愛用いただけると幸いです。

● 本書の扱いについて

- 本書の一部または全部をNTTコミュニケーションズ株式会社の許可なく複製・複製・転載することを禁じます。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書における記述は、情報を提供する目的で記載したもので、保証するものではありません。

● 商標および登録商標について

- IoT Connect Mobile Type Sは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- Macintosh、Mac、Apple、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。
-  とフリーダイヤルは、NTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- その他、記載された商品名及び会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中の各社登録商標または商標には、一部®マークなどは表示しておりません。

● 最新版の接続ガイドの提供について

最新版の接続ガイドは、以下のURLよりダウンロード可能です。

https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/icms_function/icms_function.html/#device-description

目次

目次	P4
1. はじめに	P5
2. 同梱物の確認	P9
3. SIMカードについて	P11
4. 接続設定	P14
5. その他機能設定	P24
6. 困ったときには	P30
7. お問い合わせ窓口	P32

1. はじめに

- 1-1. 本書の流れ
- 1-2. 端末仕様
- 1-3. 各部名称について

1. はじめに

1-1. 本書の流れ

2. 同梱物の確認

- お手元に届いた個装箱内の内容物をご確認ください。

3. SIMカード取り付け

- SIMカードからIC部分の取り外しを行います。
- 取り外したIC部分をRX220に挿入します。

4. 接続設定

- 設定用PCの設定を行います。
- RX220の初期設定を行います。

5. その他機能設定

- その他の付加機能に関して記載しています。
必要に応じ参照、設定してください。
 - [5-1. WANハートビート機能](#)
 - [5-2. 自動再起動機能](#)
 - [5-3. バーチャルサーバ機能](#)
 - [5-4. ファームウェアのアップデート方法](#)
 - [5-5. 初期化（工場出荷時状態）する方法](#)
 - [5-6. ランプ点灯・点滅パターン](#)

その他

- 「[6. 困ったときには](#)」、「[7. お問い合わせ窓口](#)」を記載しています。

1. はじめに

1-2. 端末仕様



RX220本体

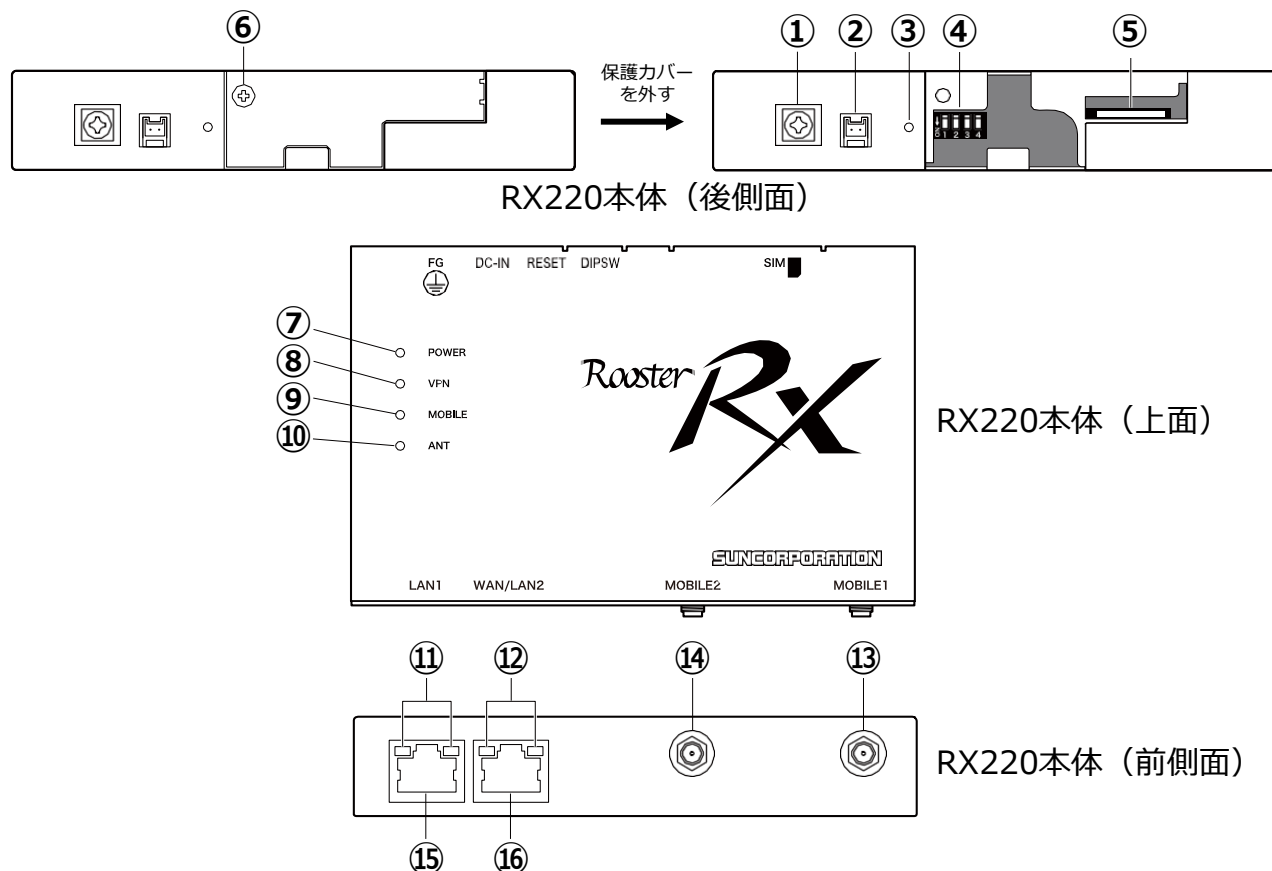
項目	仕様
機種名	RX220 (サン電子社製)
アクセス方式	LTE (NTTドコモ網)
提供形態	お買い上げ
形状	LTE M2Mルータ
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none">LAN1ポート： 10BASE-T/100BASE-TX×1ポート (MDI/MDI-X自動判別)WAN/LAN2ポート： 10BASE-T/100BASE-TX×1ポート (MDI/MDI-X自動判別)
通信速度 (※1)	上り：最大50Mbps / 下り：最大150Mbps
対応OS/ブラウザ	Windows 8以降 / Mac OS X 10.6以降 (すべてRX220設定時) <ul style="list-style-type: none">・ブラウザはChromeを推奨・Chrome以外のブラウザでは正常に動作しない可能性あり・Microsoft Edgeは非対応
音声通話	非対応
Ethernet端子	対応
電源	電圧：DC5～27.4V (±5%) / 消費電力：最大5W
動作環境	動作温度：-20℃～60℃ 動作湿度：25%～85% (結露なきこと)
寸法	22(H)×81(D)×127(W) 単位mm (突起部、取付金具除く)
質量	約350g (本体のみ)
国際ローミング	非対応
アンテナ	外付型 (本体1台に2本必要となります)
無線LAN	非対応
IPv6	非対応
SMS機能	受信対応 (WakeOn着信機能使用時 ※2)
自律接続維持機能	死活監視や定时リセット設定など、自己復帰が可能な機能を搭載し、無人環境下でも安定運用を提供します。
付属品	<ul style="list-style-type: none">・アンテナ2本 (品名：MBアンテナ ADN-0736T-25)・ACアダプター1個 (品名：RXAC ADP-18HW BH)

※1：記載の最大通信速度は技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況により変化します。

※2：WakeOn着信とは、待ち受け状態のモバイル通信端末を、遠隔地からの操作によりダイヤルアップさせることを可能とする機能です。(SMSによる着信に対応)

1. はじめに

1-3. 各部名称について



名称	機能	
① FG端子	アース線を接続します。	
② DC INコネクタ	電源を接続します。	
③ RESET スイッチ	先の細いピンなどを使って6秒以上押し続けると、MOBILEランプ、VPNランプとともに点滅し、工場出荷時の設定に戻り、再起動します。	
④ DIP スイッチ	使用しません。	
⑤ SIMカード挿入口	標準SIMカードを挿入します。	
⑥ SIMカード挿入口保護カバーネジ	⑤SIMカード挿入口の使用時には、このネジを外して保護カバーを取り外してください。	
⑦ POWER ランプ	電源状態が表示されます。	
⑧ VPN ランプ	VPNセッションの動作状態が表示されます。	
⑨ MOBILE ランプ	モバイル通信端末の動作状態が表示されます。	
⑩ ANT ランプ	電波状態を表示します。	
⑪ LAN ランプ	⑮LAN1ポートへの、LAN接続機器の接続状態が表示されます。	
⑫ WAN ランプ	⑯WAN/LAN2ポートへの、WAN/LAN接続機器の接続状態が表示されます。	
⑬ MOBILE1 コネクタ(SMA)	外部アンテナを接続します。	※アンテナは、必ず付属の本体専用アンテナを使用し2本接続してください。
⑭ MOBILE2 コネクタ(SMA)	外部アンテナを接続します。	
⑮ LAN1 ポート	LANケーブルで、LAN接続機器およびハブなどを接続します。	
⑯ WAN/LAN2 ポート	LANケーブルで、WAN接続機器やLAN接続機器およびハブなどを接続します。	

2. 同梱物の確認

2. 同梱物の確認

お手元に届いた個装箱に以下の物品が同梱されていることを確認してください。

※接続に必要なとなるその他物品（設定用PC、LANケーブルなど）は、お客さまでご準備くださいますようお願いいたします。

●同梱物一覧

品名	外観	個数
RX220本体	 <p>メーカー提供の「スタートアップガイド」が同梱されています。</p>	1
本体専用 ACアダプター		1
本体専用 アンテナ		2

3. SIMカードについて

3-1. IC部分の取り外し

3-2. SIMカードの挿入

3. SIMカードについて

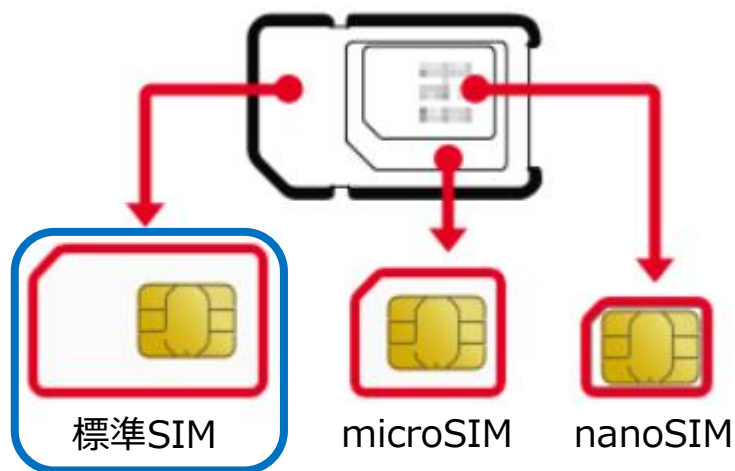
3-1. IC部分の取り外し

ICに触れないように手袋などを着用してIC部分を取り外してください。
ICに直接触れてしまった場合は乾いた柔らかい布などで拭いてからご使用ください。

マルチカットSIMカードをRX220へ取り付けや取り外す際は、必要以上の力を加えないでください。手や指を傷つけたり、故障の原因となることがあります。
また、乳幼児の手の届かない場所に保管してください、誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

マルチカットSIMは任意のサイズにカットでき、「標準SIM」、「microSIM」、「nanoSIM」の3サイズに対応します。

RX220は「標準SIM」となりますので、切り目に沿ってカットしてください。



3. SIMカードについて

3-2. SIMカードの挿入

1. 1番のサイズのプラスドライバーを用意します。

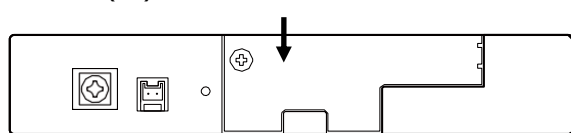
<ご注意>

出荷時、SIMカード蓋を留めるネジはやや固めになっています。

蓋を取り外す際はネジ山を潰さぬように、トルクが大きくなる極力握り部が大きなプラスドライバーをご利用ください。調整用ドライバーはトルクが小さいためネジ山を潰す可能性があります。

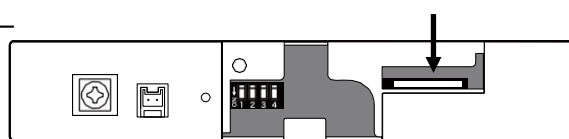
2. 本体側面のネジを外します。

ドライバー(+)で開け、保護カバーを外します



保護カバー
を外す

SIMカードを挿入します



RX220本体（後側面）

3. 本体にSIMカードを挿入します。

本体に表示されているイラストと同じ向きで「カチッ」と音がし、ロックされるまで挿入してください。



SIMカードは、本体に記載のイラストと同じ向きで挿入してください。



RX220本体（上面）

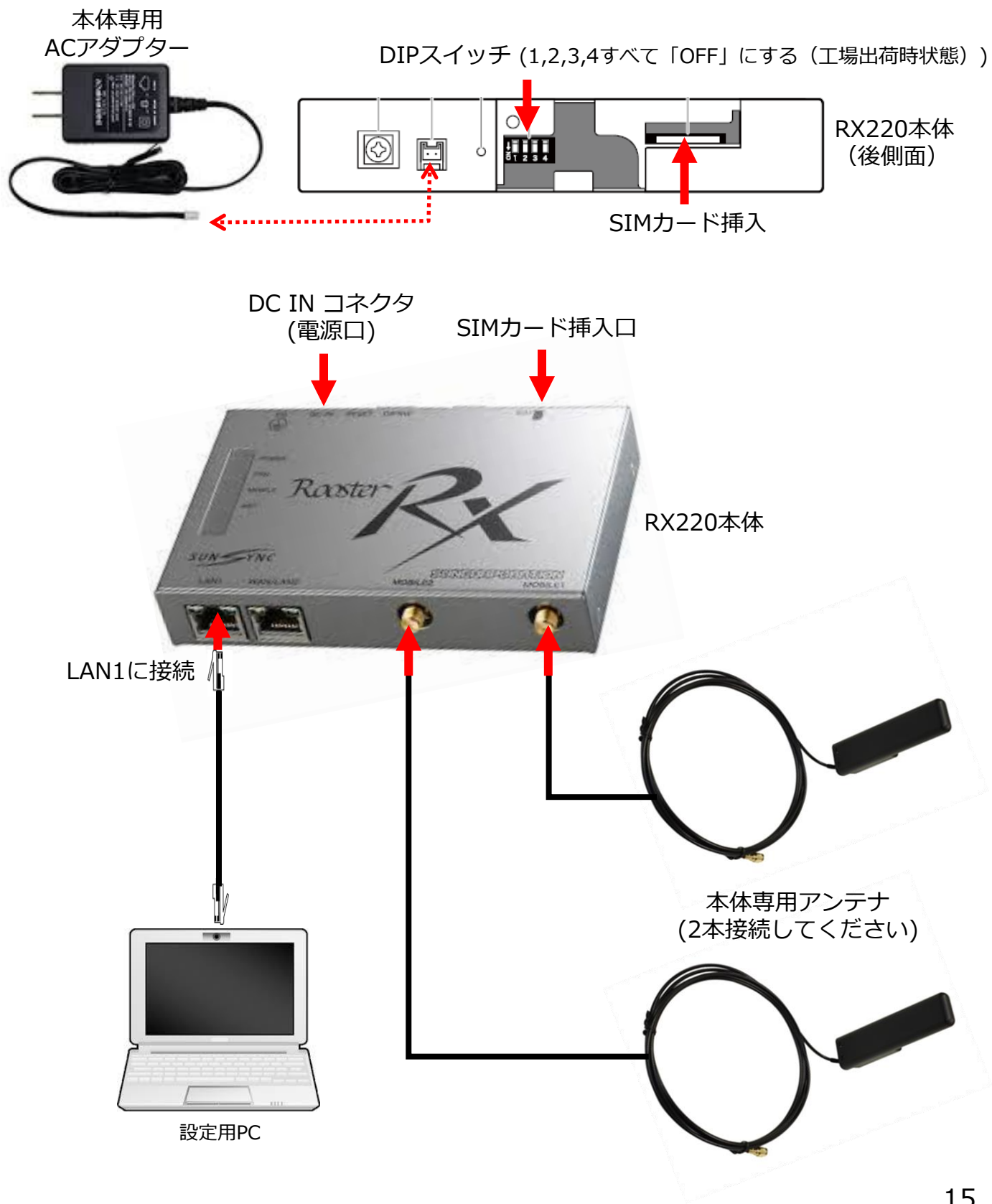
4. 接続設定

- 4-1. 接続イメージ
- 4-2. 設定用PCの設定
- 4-3. 初期設定

4. 接続設定

4-1. 接続イメージ

下図を参考に接続してください。



4. 接続設定

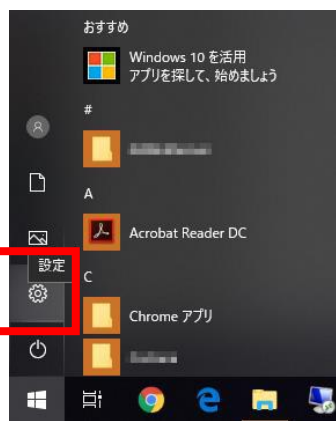
4-2. 設定用PCの設定

RX220にアクセスできるように、設定用PCにDHCPクライアントの設定をします。本書ではWindows10の設定画面にて説明します。設定用PCには管理者権限でログインしてください。

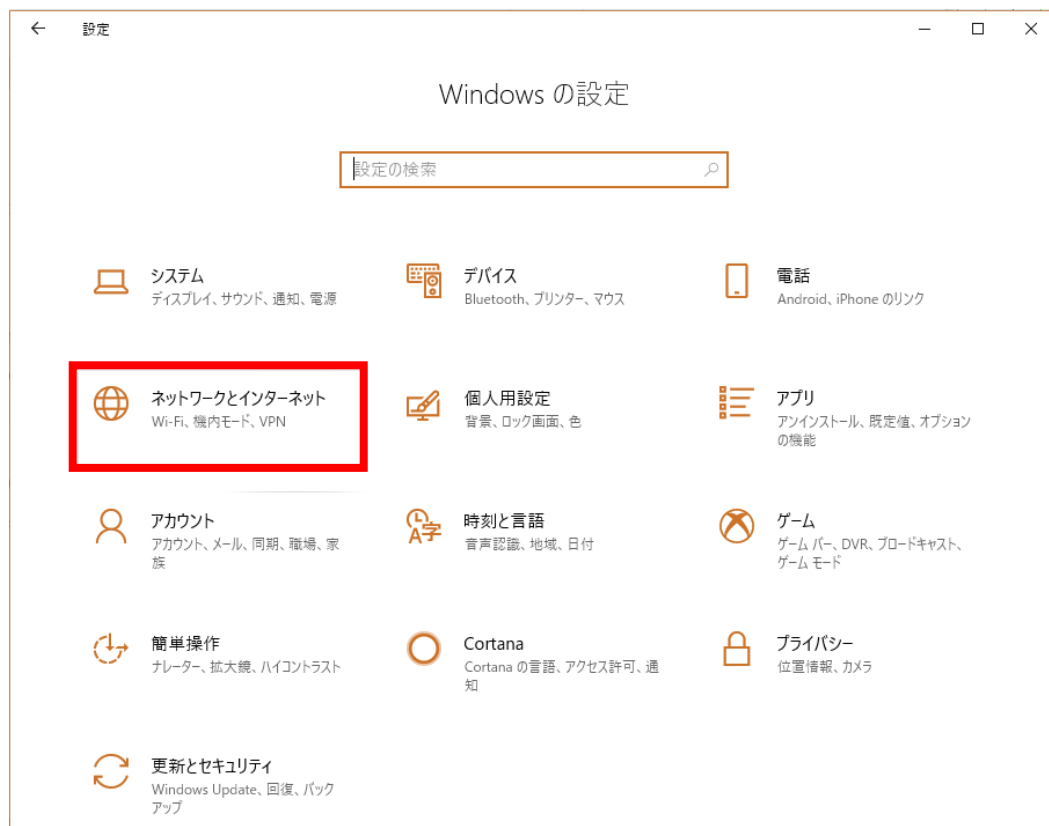
<必要な環境>

TCP/IPが利用できるOS（Windows、macOS、各種UNIX など）を搭載し、イーサネットポート搭載のPCを使用します。ブラウザはChromeを推奨します。それ以外のブラウザでは正常に動作しない可能性がございます。Microsoft Edgeは非対応です。

1. スタート画面から「設定」を開きます。



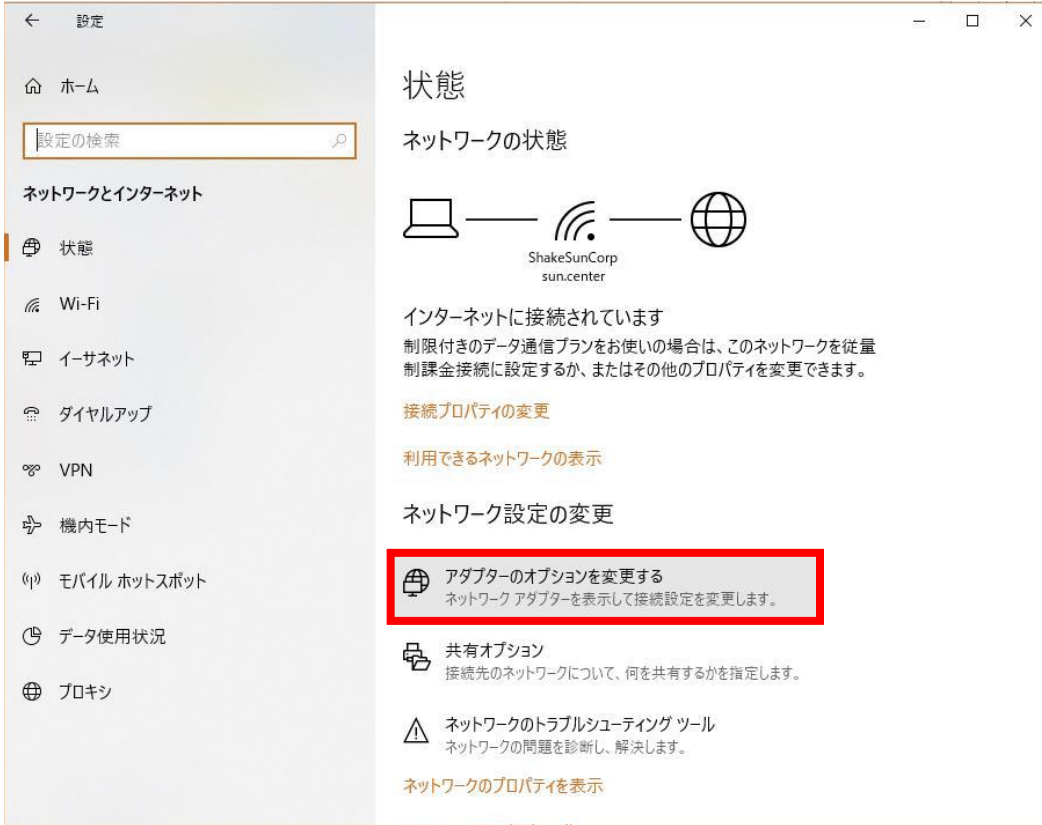
2. 「ネットワークとインターネット」を開きます。



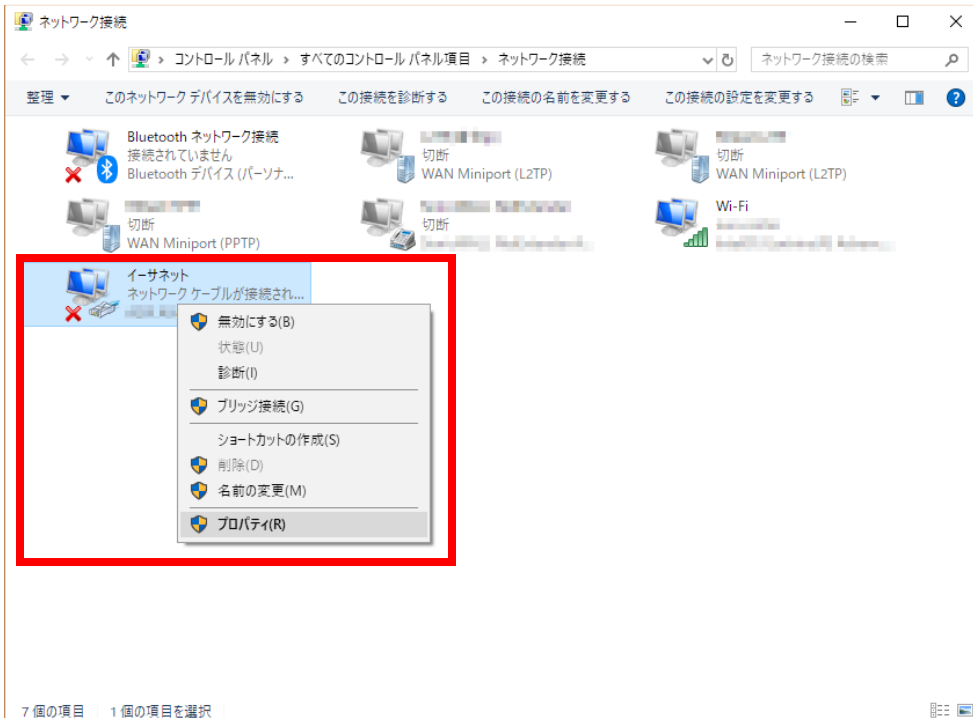
4. 接続設定

4-2. 設定用PCの設定

3. 「ネットワークの状態」から「アダプターのオプションを変更する」を開きます。



4. 「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

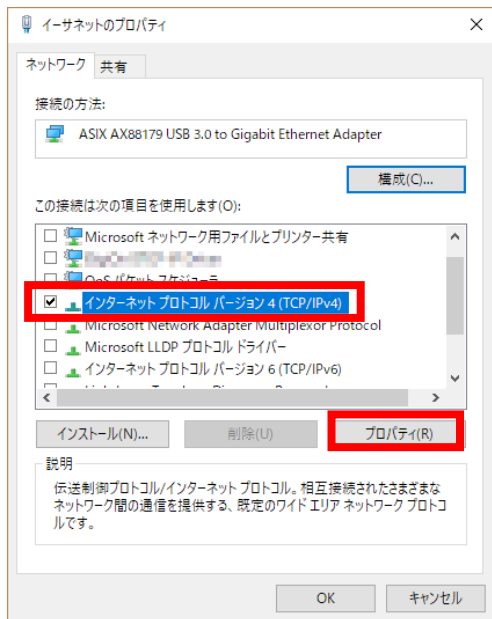


4. 接続設定

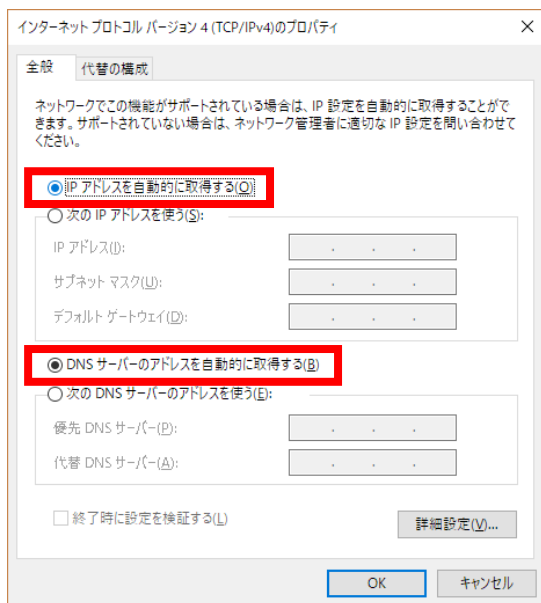
4-2. 設定用PCの設定

5. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選び、[プロパティ] ボタンをクリックします。

インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティが表示されます。



6. [IP アドレスを自動的に取得する]、[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択します。



7. [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面も、[OK] ボタンをクリックして閉じます。

4. 接続設定

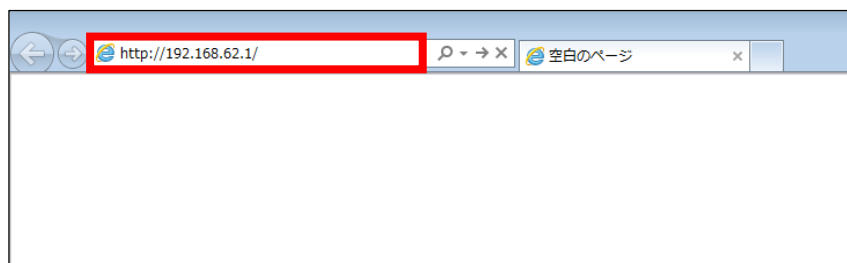
4-3. 初期設定

設定用PCからRX220に接続して、ネットワークやパスワード変更などの初期設定をするまでの手順について説明します。

1. 以下の手順を参考に、Rooster Web設定ツール（以下、Web設定ツール）へログインしてください。

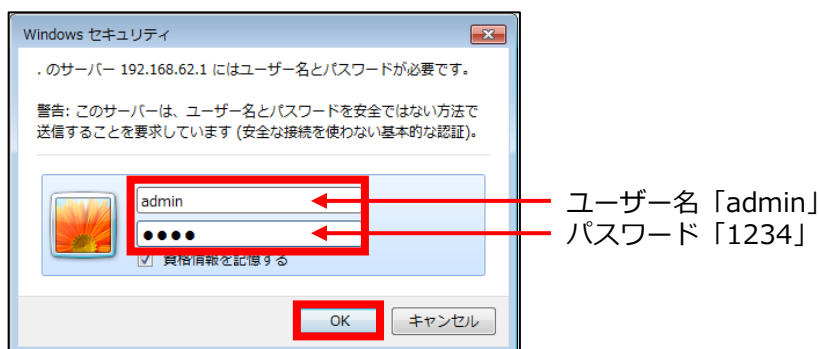
Webブラウザを起動します。

アドレス入力欄に、RX220のLAN側IP アドレス「http://192.168.62.1/」（工場出荷時状態）を入力し、Enter キーを押します。



ログインダイアログボックスが表示されます。

ユーザー名に「admin」、パスワードに「1234」（工場出荷時状態）と入力した後、[OK] ボタンをクリックします。



パスワード変更画面が表示されます。

工場出荷時状態のパスワード「1234」から、新しいパスワードへ変更してください。パスワードは、8文字以上で設定して「変更」をクリックします。

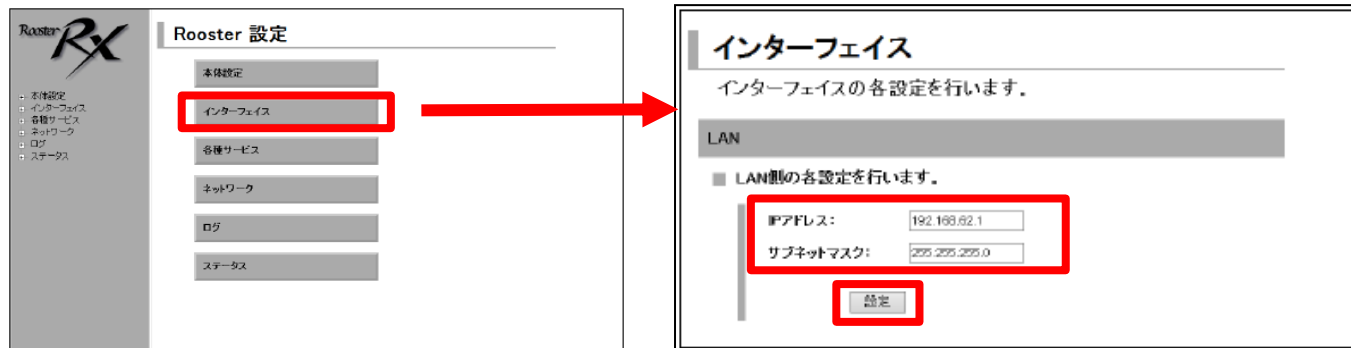
「後で変更」ボタンをクリックしても次の画面に進みますが、パスワードを変更するまでログイン後にパスワード変更画面が表示されます。パスワードを変更した場合、再度ログインダイアログボックスが表示されます。新しく設定したパスワードで再度ログインしてください。

4. 接続設定

4-3. 初期設定

2. LANの設定を行います。

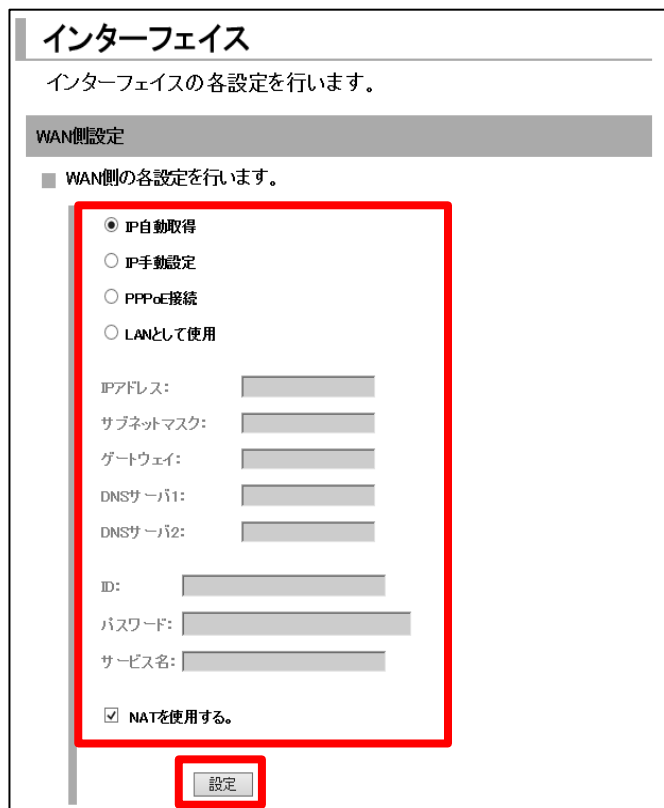
[インターフェイス] - [LAN] をクリックし、IPアドレス「192.168.62.1」、サブネットマスク「255.255.255.0」を入力し、[設定] ボタンをクリックしてください。



3. WANの設定を行います。

[インターフェイス] - [WAN] をクリックし、WAN側の各設定を入力後、[設定] ボタンをクリックしてください。

IPアドレスは、自動取得（工場出荷時状態）でも接続可能です。



※ [設定] ボタンをクリックすると下記画面が表示されますが、[後で再起動する] ボタンをクリックします。

設定を有効にするためシステムを再起動する必要があります。

全ての接続は一旦切断されますが、再起動を行ってよろしいでしょうか？

再起動する

後で再起動する

4. 接続設定

4-3. 初期設定

4. APNの設定を行います。

[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [APNの設定] をクリックし、[変更] をクリックしてください。

モード	使用	操作
ダイヤルアップ	使用しない	設定
RAS着信	使用しない	設定
WakeOn着信	使用しない	設定

CID	APN	プロトコル	メモ	操作
1				変更 削除

「APN設定の詳細設定」画面にて、以下を設定してください。

CID	1
APN	
プロトコル	IP
メモ	

【CID】 1

【APN】 ナレッジセンタよりご確認をお願いします。
https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirements.html/#provision-conditions

「端末設定/インターフェイス条件」

【プロトコル】 IP

【メモ】 任意でコメントを入力

5. 通信事業者の設定を行います。

Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [モバイル通信端末] をクリックします。

「通信事業者」のプルダウンから「ローミング」を選択して、[設定] ボタンをクリックしてください。

モード	使用	操作
ダイヤルアップ	使用しない	設定
WakeOn着信	使用しない	設定

4. 接続設定

4-3. 初期設定

6. ダイヤルアップの接続設定を行います。

Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [ダイヤルアップ] をクリックし、以下の ① ~ ④ の手順どおり設定してください。

インターフェイス

インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末:ダイヤルアップ

■ モバイル通信端末の設定 (ダイヤルアップ接続) を行います。

必要な場合は[RAS着信]および[フィルタリング]の設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続を行う。 ①

ダイヤルアップ先の設定 ④

ダイヤルアップモード: 通常

自動接続を行う。

セッションキープを行う。

LCP Echo Requestによる接続監視を行う。

10 秒間隔

5 回連続無応答で切断

無通信監視を行う。600 秒

NATを使用する。

本体側IPアドレス: 自動取得 IP固定

IPアドレス: _____

認証プロトコル: 相手に合わせる ②

設定 ③

<手順>

- ① 「ダイヤルアップ接続を行う」にチェック
- ② 「認証プロトコル」のプルダウンから「相手に合わせる」を選択
- ③ [設定] ボタンをクリック
([後で再起動する] をクリック)
- ④ [ダイヤルアップ先の設定] をクリック
- ⑤ 「接続先を追加する」横の [追加] ボタンをクリック
- ⑥ 「ダイヤルアップ接続先の詳細設定」画面にて以下を入力
【宛先IPアドレス】空欄 ※1
【宛先ネットマスク】空欄 ※1
【電話番号】「*99***1#」をそのまま入力
【ID】空欄
【パスワード】空欄
【接続方式】「通常ダイヤルアップ」を選択
【本体側IPアドレス】空欄 ※2
【メモ】任意でコメントを入力

※1 RX220はマルチ通信UIM非対応のため、空欄とします。
※2 ネットワーク側からIPアドレスが振られるため、空欄とします。

インターフェイス

インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末:ダイヤルアップ

■ ダイヤルアップ接続先リストの設定を行います。

接続先を追加する。 追加 ⑤

ダイヤルアップ接続先の詳細設定

No.	1
宛先IPアドレス	_____
宛先ネットマスク	_____
電話番号	*99***1#
ID	suncomm
パスワード	*****
接続方式	通常ダイヤルアップ
本体側IPアドレス	_____
メモ	_____

設定 キャンセル

⑥

※ ⑥実行後に表示される下記画面にて、[再起動する] ボタンをクリックします。
再起動しない場合は、「本体設定」 - [再起動する]ボタンをクリックすると再起動され、設定内容が反映されます。再起動後は、自動的に回線接続されます。

設定を有効にするためシステムを再起動する必要があります。

全ての接続は一旦切断されますが、再起動を行ってよろしいでしょうか？

再起動する

後で再起動する

4. 接続設定

4-3. 初期設定

7. 回線の接続確認をします。

Web設定ツールのメニューから、[ステータス] - [モバイル通信端末] をクリックし、「ステータス」欄に「ダイヤルアップ接続完了」と表示されていればOKです。

※回線を切断する場合は、「ステータス」欄右横の、「操作」から[切断] をクリックします。

ステータス

現在の設定・状態を表示します。

モバイル通信端末

■ モバイル通信端末の通信状態を表示します。

No.	接続先 情報	接続先 メモ	ステータス	操作
1	*00*xx5* XXXXXX		ダイヤルアップ接続完了 詳細表示	切断 復活

5. その他機能設定

- 5-1. WANハートビート機能
- 5-2. 自動再起動機能
- 5-3. バーチャルサーバ機能
- 5-4. ファームウェアのアップデート方法
- 5-5. 初期化（工場出荷時状態）する方法
- 5-6. ランプ点灯・点滅パターン

5. その他機能設定

5-1. WANハートビート機能

WAN ハートビート機能は、WAN側ネットワークの正常性を確認する機能です。設定された監視時間毎に、指定のIPアドレスまたはドメインへpingを実行します。無応答が発生した場合の動作を任意に設定できます。

【設定方法】

Web設定ツールのメニューから [各種サービス] - [WANハートビート] をクリックします。

各種サービスの設定を行います。

WANハートビート

■ WANハートビートの設定を行います。

WANハートビートを使用する。

無応答時の動作:

無応答が 10 回連続して発生した場合、[動作] をリセットする。

WANハートビートログを記録する。

監視先サーバ:

SunDMS WANハートビートを使用する。
監視時間: [] 分 (2~1440)

監視先ホスト: []

任意のサーバを使用する。
監視時間: [1] 分
監視先ホスト: [] VPN接続先

<設定項目・パラメータ>

- WANハートビートを使用する：チェック オン
- 無応答時の動作：
WANハートビートで接続状態の確認ができなかった場合に行う動作を選択

【無応答が指定回数で連続した場合、リセットする（再起動する）】

無応答時に再起動したい場合、選択

- ・回数：無応答の待機回数を指定
- ・挙動選択：再起動の対象として、「本機」（RX220本体）、「モバイル通信端末」のいずれかを選択

【WANハートビートログを記録する】
無応答時にログ保存したい場合、選択

■ 監視先サーバ：

WANハートビートを行う相手先を選択

【SunDMS WANハートビートを使用する】

- ・監視時間：監視を行う間隔を指定（2～1440 [分]）
- ・監視先ホスト：SunDMS WANハートビートのドメイン名を指定

※ RX220ご利用者は、サン電子社が提供するIoT/M2M遠隔管理サービス「SunDMS」をご利用できます。WANハートビートの他、ファームウェアの更新やログ、温度、電圧管理、死活監視などの遠隔集中管理が可能です。WANハートビートのご利用は有償となります。詳細は以下サイトを参照ください。

<http://www.sun-denshi.co.jp/sc/dms/index.html>

【任意のサーバを使用する】

- ・監視時間：監視を行う間隔を指定（1～1440 [分]）
- ・監視先ホスト：WANハートビートの相手先を指定します。相手先IPアドレスまたはドメイン名を手動で設定することもできます。指定するIPアドレスはグローバルIPアドレスまたはVPN接続先のネットワークIPアドレスです。
- ・VPN接続先：監視先ホストにVPN接続先のネットワーク IPアドレスを指定する場合は、チェックをオンにします。

5. その他機能設定

5-2. 自動再起動機能

安定した運用を行うことを目的としたRX220の自動再起動機能を有しています。

●ハードウェアによる自動再起動

ハードウェアの電源をON/OFFするための設定です。

回線がつながっている状態でも、設定時間になるとハードウェアが再起動します。ソフトウェアの設定が何らかの影響にて動作しなかった時の保険的な機能です。

●ソフトウェアによる自動再起動

ソフトウェア上でRX220の電源をON/OFFするための設定です。

【設定方法】

Web設定ツールのメニューから [本体設定] - [電源制御] をクリックします。

本体設定

本体の各設定を行います。

電源制御

自動電源ON/OFFの設定を行います。

ハードウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。

間隔: 7日

ソフトウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。

動作条件: 回線接続中は電源ON/OFFしない。

回線接続中でも電源ON/OFFする。

分散時間: 60分 (0~120)

間隔指定

間隔: 1日

時刻指定

00時 00分 (00:00~23:59)

毎日

曜日指定

:月 :火 :水 :木

:金 :土 :日

設定

<設定項目・パラメータ>

■ハードウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。

【間隔】再起動する間隔を指定 (1~7 [日])

■ソフトウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。

【動作条件】回線接続中の機能動作有無を選択

【分散時間】再起動を分散させる時間を指定 (0~120 [分])

※ 個体ごとに再起動する時間を分散させます。

複数台設置時に同時に再起動した場合のネットワーク上の輻輳を防ぐため、製造番号を元にした乱数を使い、指定された再起動時間から分散時間の設定値の間で再起動を遅らせます。

【間隔指定】再起動する間隔を指定 (1~7 [日])

【時刻指定】再起動させたい時刻を指定 (00:00~23:59)

再起動間隔を「毎日」または「曜日指定」で選択

5. その他機能設定

5-3. バーチャルサーバ機能

バーチャルサーバ機能は、インターネット上（リモートホスト）から、LAN側の接続機器にアクセスを行わせる機能です。

通常、LANに設置されている機器は、グローバルIPアドレスでアクセスを行うことはできませんが、プロトコル・TCP/UDPポート番号を指定することによって、アクセスできるようになります。（*DMZと同時に使用することはできません）

【設定方法】

Web設定ツールのメニューから [ネットワーク] - [バーチャルサーバ] をクリックします。「バーチャルサーバ」リストのページが表示されます。

ネットワーク

ネットワークの各設定を行います。

バーチャルサーバ

■ バーチャルサーバの設定を行います。

設定の追加 **追加** ← 追加する場合は [追加] ボタンをクリック

No.	インターフェイス	プロトコル	開始ポート	終了ポート	サーバのIPアドレス	メモ	操作
1	モバイル通信端末	TCP	80	80	192.168.82.50	http	変更 削除

設定済み項目を変更する場合は[変更]をクリック
削除する場合は[削除]をクリック



バーチャルサーバの詳細設定

No.	1
インターフェイス	モバイル通信端末
プロトコル	TCP
開始ポート番号	80
終了ポート番号	80
サーバのIPアドレス	192.168.82.50
サーバのポート番号	85
外部からのアクセス	INPUTフィルタリングに従う
メモ	http

設定 キャンセル

※バーチャルサーバの設定は最大32件まで可能

<設定項目・パラメータ>

【インターフェイス】 モバイル通信端末/PPPoE/WAN

【プロトコル】 UDP/TCP/all

【開始ポート番号】 1~65535 (半角数字)

【終了ポート番号】 1~65535 (半角数字)

【サーバのIPアドレス】 xxx.xxx.xxx.xxx形式

※ バーチャルサーバとして外部に公開する機器のIPアドレスを指定

【サーバのポート番号】 1~65535 (半角数字)

※ LAN側のサーバに転送するポート番号指定

【外部からのアクセス】 全て許可する

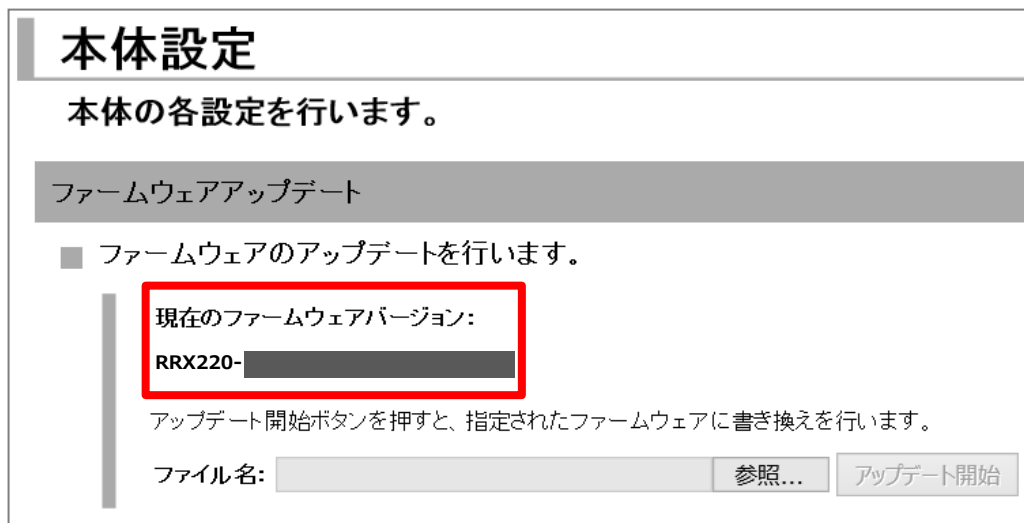
/INPUTフィルタリングに従う

【メモ】 設定内容などのメモ (半角16文字/全角8文字まで)

5. その他機能設定

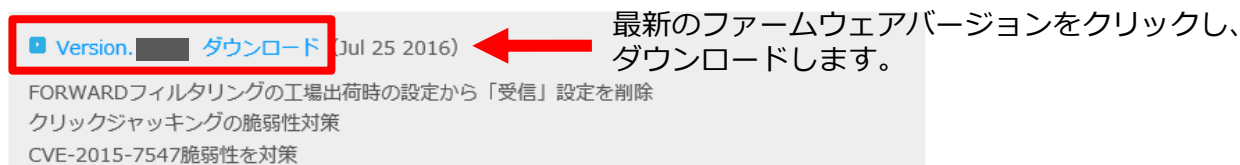
5-4. ファームウェアのアップデート方法

1. [本体設定] - [ファームウェアアップデート] をクリックし、現在のバージョンを確認します。

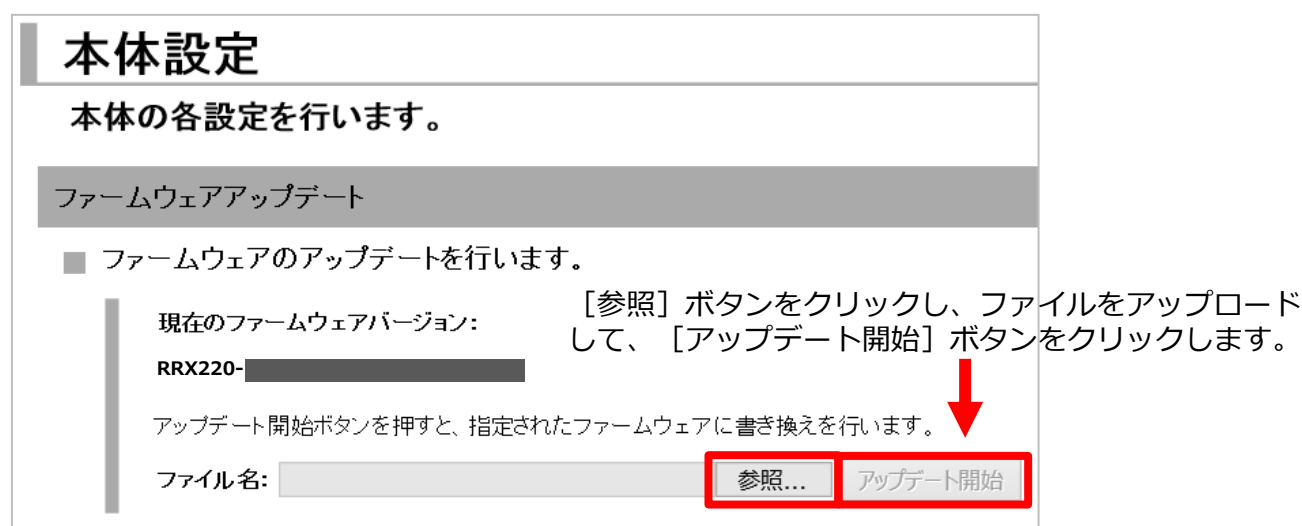


2. 新しいファームウェアを以下サイトにて確認し、ダウンロードします。

<https://www.sun-denshi.co.jp/sc/down.html>



3. 上記、1. の設定画面よりファイルを指定してアップデートします。



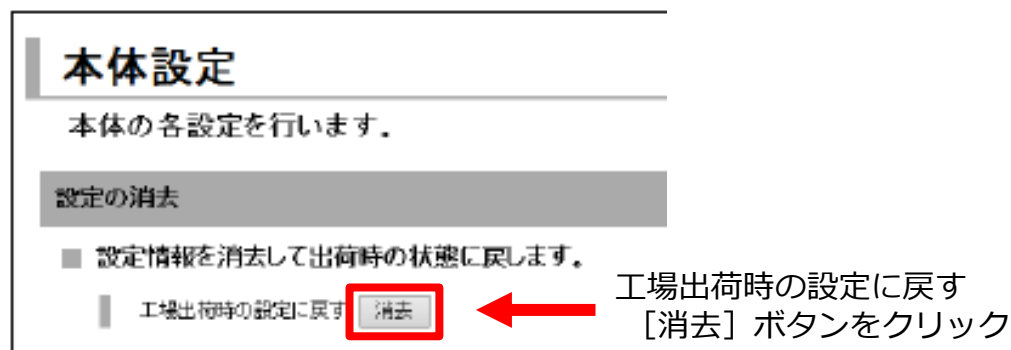
再起動するとアップデート完了です。

※ ファームウェアのアップデートは完了するまで、10分程度かかります。
アップデート中は、絶対に電源がOFFにならないようにしてください。動作不能となる恐れがあります。
これにより動作不能となった場合、有償修理となりますのでご注意ください。

5. その他機能設定

5-5. 初期化（工場出荷時状態）する方法

[本体設定] - [設定の消去] をクリック



*再起動すると初期化されます。

5-6. ランプ点灯・点滅パターン

名称	ランプ状態	状態
POWER	点灯	電源が入っていて使用可能な状態
	点滅	起動中またはおやすみモードへ移行中
	遅い点滅	おやすみモード中
	消灯	電源が入っていない
VPN	早い点滅	VPN接続が確立されデータ通信が行われている状態
	点灯	VPN接続が確立された状態
	消灯	VPN接続が行われていない
MOBILE	早い点滅	ダイヤルアップ接続でデータ通信が行われている状態
	点滅	ダイヤルアップ接続試行中
	点灯	ダイヤルアップ接続が確立された状態
	消灯	ダイヤルアップ接続が行われていない
ANT	点灯	モバイル通信圏内（電波強度：強）
	2回点滅	モバイル通信圏内（電波強度：やや弱い）
	点滅	モバイル通信圏内（電波強度：弱）
	消灯	モバイル通信圏外
LAN・WAN（緑）	早い点滅	データが流れています
	点灯	リンクしています
	消灯	リンクしていません
LAN・WAN（黄）	点灯	100BASE-Tでリンクしています
	消灯	リンクしていないか、10BASE-Tでリンクしています

6. 困ったときには

6. 困ったときには

症状	確認項目
ネットワークに接続できない	圏外で使用していませんか？ ●ANTランプで電波状態を確認し、サービスエリア内で接続を行ってください。
	接続設定に誤りはありませんか？ ●開通時にお渡ししたご利用内容のご案内に記載されている「APN」、「認証ID」、「パスワード」が正しく設定されていることを確認してください。
ネットワーク接続がすぐに切断される	RX220が正しく設定されていますか？ ●RX220と接続デバイスが正しく接続されていることを確認してください。
	電波状態は安定していますか？ ●電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
ネットワーク速度が安定しない	電波状態は安定していますか？ ●電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
本体の設定画面にログインできない	●設定を行うPCとRX220本体が接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、LANケーブルで接続してください。 ●設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。 ●Webブラウザがプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 ●設定を行うRX220本体のIPアドレスが正しく設定されているかを確認してください。

7. お問い合わせ窓口

7. お問い合わせ窓口

■ SIMに関するお問い合わせ

ポータル画面からチケットにてお受けしております。

受付時間	24時間365日
対応時間	平日 10:00~17:30 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)

※チケットの起票方法は以下を参照ください。

<https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/tutorials/ticket/ticket.html/>

■ 端末の設定・操作方法に関するお問い合わせ

電話にてお受けしております。

あらかじめお客様の端末のIMEI番号をご準備いただけますとスムーズにご案内できます。

※IMEI番号は装置に貼付したシールに記載されています。

※**接続の初期設定、端末操作方法について、サポート範囲は本書に記載の内容に限ります。**

受付電話番号	 0120-561-749
受付時間	端末操作 平日 9:00~18:00 (JST / 土日祝日、年末年始を除く) 端末故障 平日 9:00~20:00 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)

■ 同梱物の欠品に関するお問い合わせ

営業担当へご連絡をお願いします。

接続ガイド RX220

2025年2月 第1.4版発行

発行 NTT コミュニケーションズ株式会社

©NTT Communications Corporation All Rights Reserved.

本書の無断複写複製（コピー）・転載を禁じます。